

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、12～18℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——月夜間とシケの日が多かった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の60%（前年を下回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり89kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり3.7トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。ケンサキイカは、五島奈留地区では1日1統当たり10kgの水揚げで、前週の2.5倍（前年を下回った）。
- 定置網——五島有川地区では、ブリなどが1日1統当たり21kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり3.9トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり66kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり67kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキなどが1日当たり147kgの水揚げで、前週の75%（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（3/14～3/17の4日間）沖合イカ釣り船、船凍船は切揚休漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡周辺に出漁。

鳥取県西部（沖合船）1日延4隻、総計33箱、1航海最高10箱、平均8.3箱。

スルメイカを中心に漁獲、魚体は20～25入り主体。

今期は隠岐海峡周辺が主漁場となったが荒天のため出漁日数が減少した。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>